



# 荻窪駅周辺 都市総合交通戦略

～ゆっくり歩いてまちを楽しむために～【概要版】

## 背景と目的

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、様々な都市機能が集積する区の中心的な拠点となっています。その一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや、区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足などの課題を抱えています。

荻窪駅周辺 都市総合交通戦略は、「荻窪駅周辺まちづくり方針（平成 29 年 4 月）」に掲げられたまちの将来像の実現に向けて、荻窪駅周辺の交通環境における課題に対応するため、地域、交通事業者、警察、東京都等と協力して、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを推進することを目的としています。

## 位置づけ

荻窪駅周辺 都市総合交通戦略は、「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）（平成 25 年 10 月）」などを上位計画とするとともに、「荻窪駅周辺まちづくり方針」の交通施策に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

## 対象区域

右図に示す通りです。

## 計画期間

概ね 20 年後の未来を視野に入れた期間としています。



▲荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の対象区域



▲駅東口改札前の通路



▲朝ピーク時の駅前広場内のバス降車状況  
(バス発着の集中により道路上で降車している)



▲荷捌き車両と歩行者の錯綜



▲歩行者と自転車の錯綜

## 都市総合交通戦略の基本方針（将来交通環境）

### 1. 南北移動・交通結節

南北を気軽に行き来できるまち

▶『らくらく南北往来プログラム』

乗り換えしやすい駅・駅前広場があるまち

▶『すいすい乗換えプログラム』

### 2. 利便性・にぎわい・回遊性

普段の買い物・まち歩きを快適に楽しめるまち

▶『今日もいつもの商店街プログラム』

▶『ぐるっとおでかけまち歩きプログラム』

▶『賢い自転車利用プログラム』

### 3. 安全・安心

誰もが安全に安心して移動できるまち

▶『ホッと道路プログラム』

▶『みんなに優しい自転車利用プログラム』

▶『頼れるターミナル駅プログラム』

### 4. 将来の社会変化

新たな技術等を生かした安全で快適に移動できるまち

▶『新技術活用プログラム』

※各プログラムの戦略目標や施策パッケージについては、内側面を参照ください。

## 都市総合交通戦略の戦略目標と施策パッケージ

【実施時期】  
**短期**：平成 31 年度から概ね 5 年間  
**中期**：短期以降 概ね 5 から 10 年間  
**長期**：短期以降 概ね 10 から 20 年間

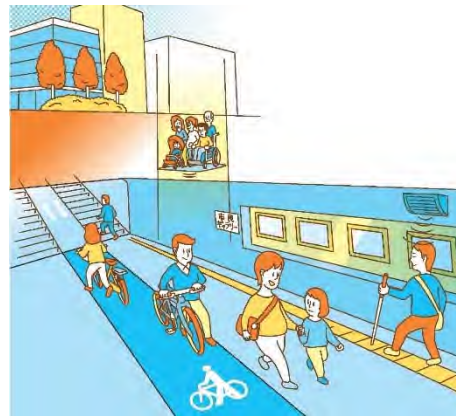
### らくらく南北往来プログラム

対象 全ての人

- ・駅と一体となった南北連絡動線について、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、その充実に取り組みます。
- ・荻窪地下道について、移動円滑化や環境改善に取り組みます。環八通り地下通路については、主に環境改善に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 駅と一体となった南北連絡動線の改善等 **短期** ～ **長期**
- 荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等 **短期** ～ **中期**



### すいすい乗換えプログラム

対象 全ての人

- ・バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能等の充実に向け、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。
- ・JR・メトロ間等の乗換え経路の改善に向けた検討・協議や、駅とバスのりば間のシームレスな案内・誘導に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 駅周辺の開発にあわせた基盤整備 **短期** ～ **長期**
- JR・メトロ間等の乗換え経路の改善 **短期** ～ **長期**



### 今日もいつもの商店街プログラム

対象 主として地域住民

- ・駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しめるよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、ユニバーサルデザインの観点から、商店街などの買い物道路について、年齢や障害の有無などに関わらず、また、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全で快適に買い物を楽しめる空間の確保に取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、人の流れと地域の日常生活を支える物流との調和の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- まちへ誘うにぎわい拠点の整備 **短期** ～ **長期**
- まちのなかでくつろぎ楽しめる空間の創出 **短期** ～ **中期**
- 荷捌きスペースの確保 **短期** ～ **中期**



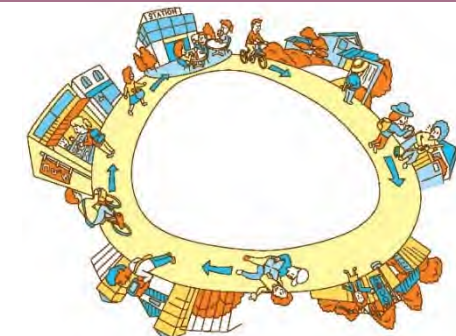
### ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

対象 主として来街者

- ・来街者のまちの回遊性を向上させる観点から、駅構内と地上部との連続性を考慮した、わかりやすくシームレスな案内・誘導サインの整備に取り組みます。
- ・数多く点在する歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりと、これを通じた地域への愛着や誇りを育む観点から、復原・整備を行う荻外荘と、大田黒公園や角川庭園等の周辺施設との連携を意識した上で、ハード・ソフトの両面から、回遊性の向上に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- わかりやすい案内・誘導サインの整備 **短期** ～ **長期**
- まちへ誘うにぎわい拠点の整備（再掲） **短期** ～ **長期**
- 駅周辺の回遊性の向上 **短期** ～ **中期**



### 賢い自転車利用プログラム

対象 全ての人（自転車利用者）

- ・駅を中心とした地域住民の移動手段の充実や、まちを巡る来街者の移動手段の確保等の観点から、シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討により、自転車利用者の利便性・快適性の向上に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 新たな自転車利用の推進 **短期**



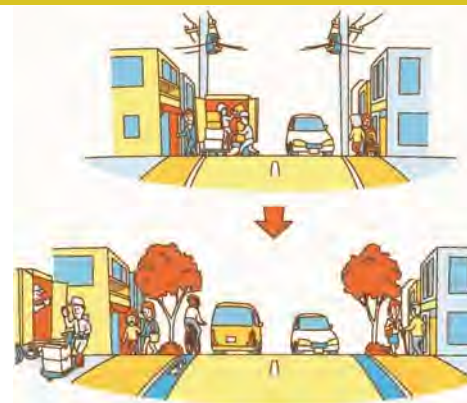
### ホッと道路プログラム

対象 主として地域住民

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」に基づく主要生活道路等の整備や、「杉並区無電柱化推進方針」に基づく無電柱化の推進等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に移動できる道づくりに取り組みます。
- ・交通の安全と円滑化の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 安全で快適な道路の整備 **短期** ～ **長期**
- 荷捌きスペースの確保（再掲） **短期** ～ **中期**



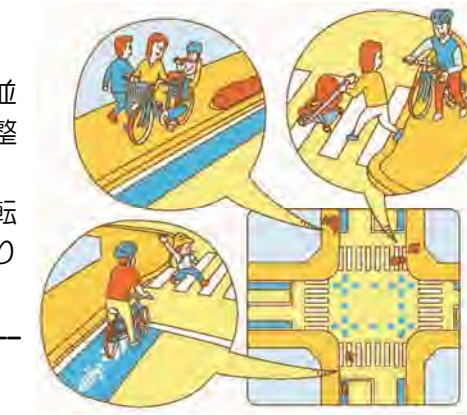
### みんなに優しい自転車利用プログラム

対象 主として地域住民

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上の観点から、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく自転車ネットワーク路線の整備に取り組みます。
- ・また、交通安全対策として、自動車の交通量や速度の抑制対策、自転車利用者の運転マナー向上や交通ルール順守への意識啓発等に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備 **短期** ～ **中期**



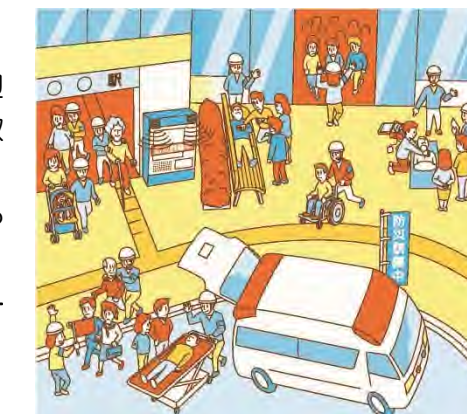
### 頼れるターミナル駅プログラム

対象 全ての人

- ・災害時の滞留機能の向上の観点から、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえ、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。
- ・鉄道事業者等の関係者と連携を図りながら、駅と駅前広場等の駅周辺の更なる安全性確保に取り組みます。

#### 【施策パッケージ】

- 駅周辺の開発にあわせた基盤整備（再掲） **短期** ～ **長期**
- 駅や駅周辺における安全性の向上 **短期** ～ **長期**



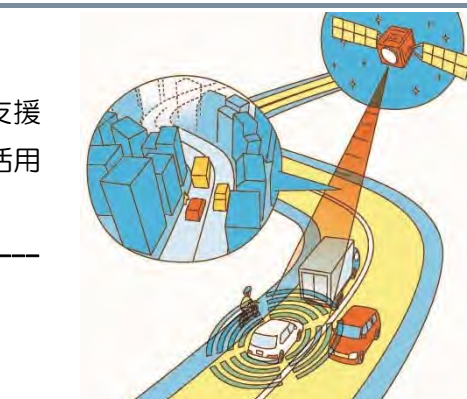
### 新技術活用プログラム

対象 全ての人

- ・社会経済状況の変化や新たな技術開発の動向等を踏まえ、高齢者等の移動支援や効率的な物流の確保の観点から、自動運転技術等、様々な新しい技術の活用の可能性について調査・検討を進めます。

#### 【施策パッケージ】

- 新たな技術の活用 **短期**



## 評価指標

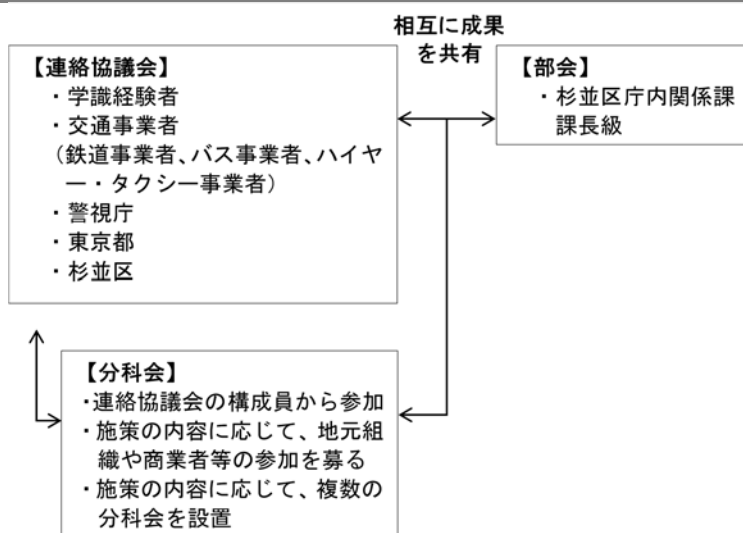
- ・将来交通環境の実現に向け、荻窪駅周辺 都市総合交通戦略の推進管理の参考とする指標として、3つの指標を設定します。
- ・概ね10年後の目標値を設定し、評価時点において把握可能な最新の数値によって評価を行います。

| 指標               | 現状値（直近4ヵ年） |          |          |        | 目標値<br>（平成40年度）<br>（2028年度） |
|------------------|------------|----------|----------|--------|-----------------------------|
|                  | 平成27年度     | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度 |                             |
| 荻窪駅の1日平均乗降人員（人）  | 257,975人   | 262,047人 | 267,460人 | —      | <b>298,000人<br/>を上回る値</b>   |
| 駅周辺の満足度（%）       | —          | —        | —        | 79.9%  | <b>84.4%</b>                |
| 駅周辺施設アクセスの満足度（%） | —          | —        | 69.7%    | —      | <b>75.3%</b>                |

## 推進管理体制

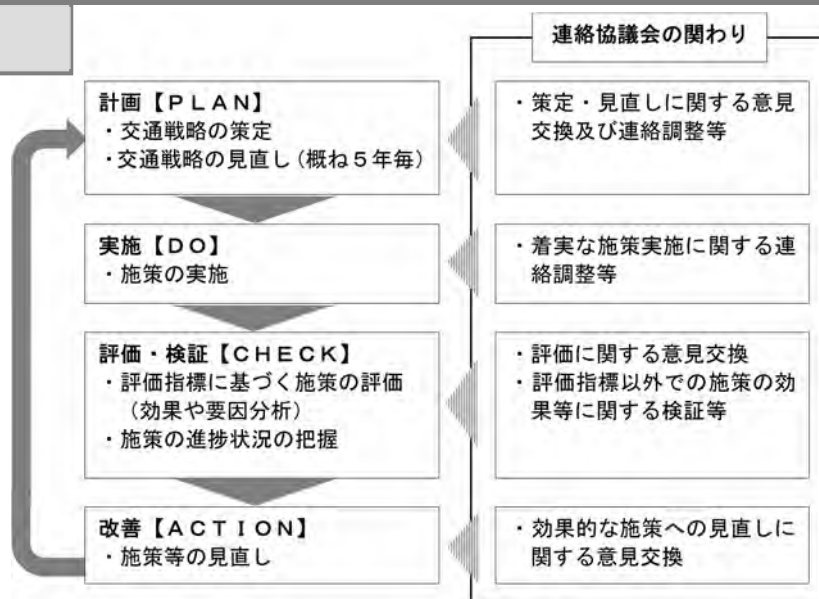
### 都市総合交通戦略の推進体制

- ・都市総合交通戦略の推進にあたっては、実施主体となる様々な関係者が相互に連携し、総合的・一体的に取り組むことが重要です。
- ・そのため、右図に示す連絡協議会・部会・分科会により推進管理を行います。
- ・連絡協議会では、概ね年に1度、継続的な意見交換及び連絡調整を行い、着実な施策の展開を図ります。また、評価指標だけでは汲み取ることが困難な、まちづくりへの効果についても意見交換し、情報の共有化を図ります。



### P D C Aサイクルによる施策の推進管理

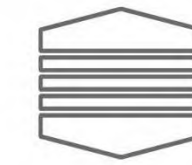
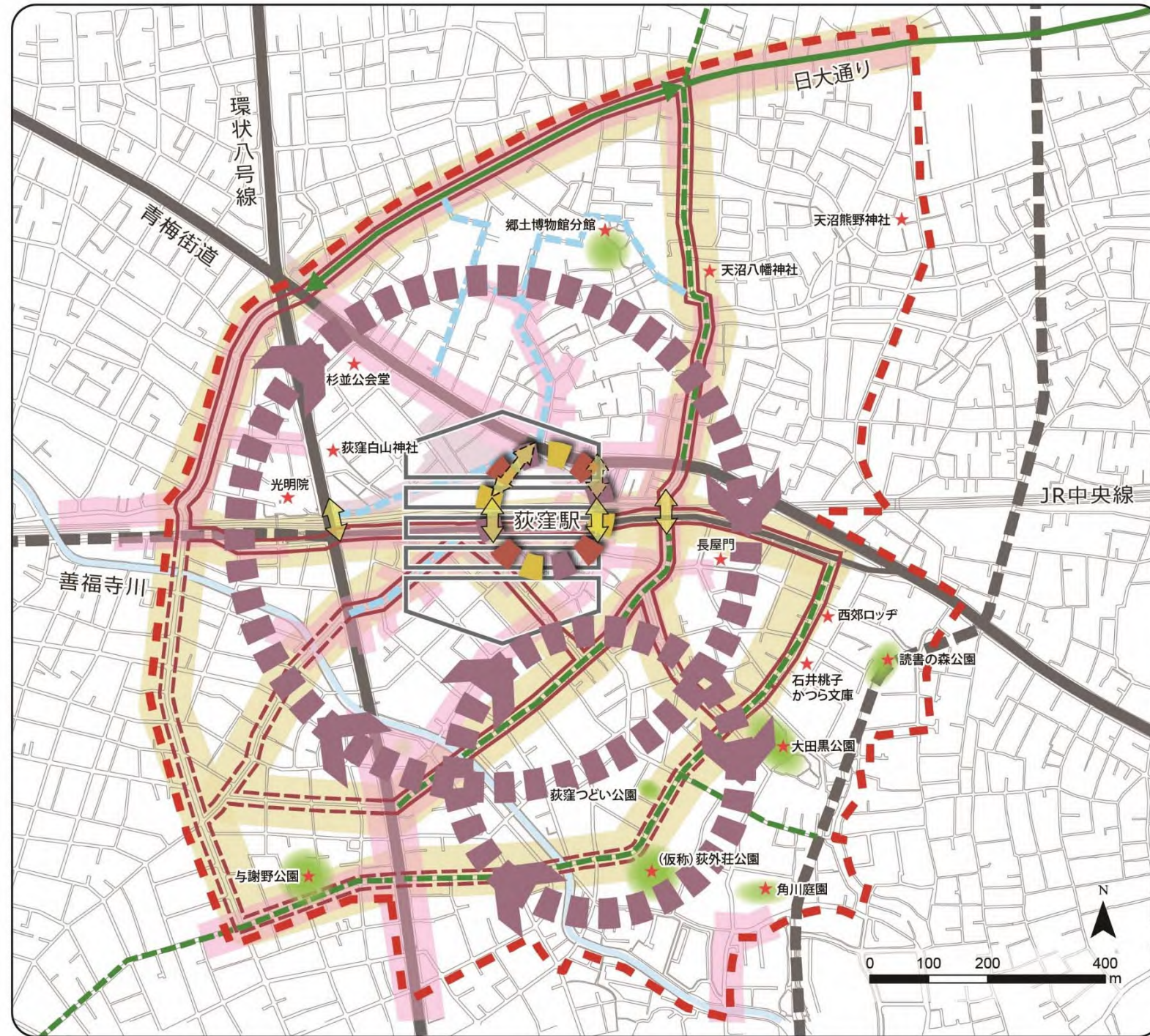
- ・都市総合交通戦略を効果的かつ効率的に展開していくためには、施策パッケージを着実に実施するとともに、実施後には適切な評価をし、その結果に基づく柔軟な見直しを図ることが有効です。
- ・そのため、右図に示すPDCAサイクルに基づき、施策の推進管理を実施します。



荻窪駅周辺 都市総合交通戦略  
～ゆっくり歩いてまちを楽しむために～  
平成31年1月  
【概要版】

杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
【電話】03-3312-2111（内線：3382）【FAX】03-3312-2907

## 【都市総合交通戦略における将来交通の姿】



- 駅と一体となった南北連絡動線の改善等
- 荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等



- 駅周辺の開発にあわせた基盤整備
- JR・メトロ間等の乗換え経路の改善
- まちへ誘うにぎわい拠点の整備
- わかりやすい案内・誘導サインの整備
- 駅や駅周辺における安全性の向上



- まちのなかでくつろぎ楽しめる空間の創出
- 荷捌きスペースの確保（※商店街周辺も含む）



- 駅周辺の回遊性の向上



- 安全で快適な道路の整備
- 自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備



- [ 対象区域全域に係る施策 ]

- 新たな自転車利用の推進
- 新たな技術の活用

### 地図に関する凡例

- |                       |                        |           |
|-----------------------|------------------------|-----------|
| 都市計画道路                | 交通戦略の対象区域              | 公園        |
| 都市計画道路（未整備）           | 自転車ネットワーク路線 ※1（優先整備路線） | 歴史的・文化的資源 |
| 主要生活道路（優先整備路線・安全対策路線） | 自転車ネットワーク路線            | 南北連絡動線    |
| 主要生活道路（優先整備路線）        | 商店街                    |           |
| 主要生活道路                |                        |           |
| 主な主要区画道路等の整備路線        |                        |           |
- ※1「自転車ネットワーク路線」  
「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく、路面標示などにより安全な自転車通行空間を連続的に整備する路線

### 施策に関する凡例

1. 南北移動・交通接結に関する施策
2. 利便性・にぎわい・回遊性に関する施策
3. 安全・安心に関する施策
4. 将来の社会変化に関する施策

※主な施策の対象位置を示しています。  
必要に応じて、対象区域全域においても施策の実施を検討します。

【都市総合交通戦略における施策の対象位置】

●対象区域全域に係る施策

|  |                               |  |                    |
|--|-------------------------------|--|--------------------|
|  | 買い物客用駐輪スペースの充実に向けた既存制度の効果的な運用 |  | 駅周辺における無電柱化の調査・検討  |
|  | ゆとりある快適な歩行空間の形成に向けた活動の支援      |  | 住宅地等における生活道路対策の実施  |
|  | 既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保          |  | 交通安全啓発活動の実施        |
|  | 一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導      |  | 駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備 |
|  | 路上空間における荷捌きスペース確保             |  | 帰宅困難者支援マップの作成・配布   |
|  | 既存駐車場のタイムシェアリング               |  | 自動運転公道実証実験への協力     |
|  | 荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議      |  |                    |
|  | 路上駐車取締りの強化                    |  |                    |
|  | シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討（再掲）     |  |                    |

●商店街に係る施策

|  |                            |
|--|----------------------------|
|  | 商店街における交通課題等の共有・機運の醸成      |
|  | 店舗前面（民地）での椅子等の設置による憩いの場づくり |
|  | 商店街等の歩きやすい歩行環境づくり          |
|  | ポケットパーク等の憩いの場づくり           |
|  | 買い物客用駐輪スペースの創出             |
|  | 道路不正使用合同取締りの実施             |
|  | 歴史的・文化的資源と商店街との連携事業の実施     |

●駅周辺の回遊性向上に係る施策

|  |                              |
|--|------------------------------|
|  | （仮称）荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランの策定 |
|  | 歴史に触れる案内・誘導サインの設置            |
|  | 散策ルート of PR                  |
|  | 歴史的・文化的資源間の連携事業の実施           |
|  | シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討        |
|  | 歴史的・文化的資源における使いやすい駐輪スペースの整備  |
|  | 観光バス等の利用環境の確保に向けた調査・検討       |
|  | トランスボックスラッピングの周知             |

●トランスボックスに係る施策

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | トランスボックスを活用した案内・誘導 |
|--|--------------------|

●JR荻窪駅 改札内に係る施策

|  |            |
|--|------------|
|  | ホームドア設置の推進 |
|--|------------|

施策に関する凡例

1. 南北移動・交通接結に関する施策
2. 利便性・にぎわい・回遊性に関する施策
3. 安全・安心に関する施策
4. 将来の社会変化に関する施策

地図に関する凡例

- 交通戦略の対象区域
- 商店街
- 駅前大規模商業施設の機能更新期をとらえた駅周辺の基盤整備
- 南北連絡動線
- 主要生活道路（優先整備路線）
- 荻窪駅周辺における無電柱化による整備効果が高い路線
- トランスボックスラッピング

